



TITLE:

各大学図書館相互利用担当の方へ
他大学の方が京都大学の所蔵資料
を閲覧される場合のお願い

AUTHOR(S):

CITATION:

各大学図書館相互利用担当の方へ他大学の方が京都大学の所蔵資料を
閲覧される場合のお願い. 静脩 1993, 30(1): 6-6

ISSUE DATE:

1993-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37209>

RIGHT:

自然構造基礎論講座

自然環境学科

物質環境論講座

生物・地球圏環境論講座

環境適応論講座

大学院人間・環境学研究科

第一専攻 人間・環境学専攻

8 講座（講座名省略）

第二専攻 文化・地域環境学専攻

9 講座（講座名省略）

学部4学科のうち、2学科は人文・社会科学系分野、他の2学科は自然科学系分野に対応し学内でもユニークな学部構成となっています。

上記の組織整備の経過に合わせ教養部図書委員会は、この組織に対応した図書館の機能について検討を進め、学部、大学院人間・環境学研究科、全学共通科目（総合人間学部が責任部局）の教育・研究支援の図書館としての「総合人間学部図書館」の構想を教養部長に提言しました。

この検討の中では、図書館の組織運営、教育・研究図書館の蔵書構成、講座（旧教室）図書室と学部図書館との機能調整、新時代をめざす図書館（インテリジェント図書館）への展望等についても検討が重ねられました。

新学部には、教養部からの累計所蔵冊数約53万5千冊の3分の2がそれぞれ旧教室図書室に、主として研究用に所蔵、利用されています。

この研究用図書について、講座（旧教室）図書室と学部図書館をどのように発展的に機能させるかは極めて重要な問題です。

新学部図書館の構想は、京都大学図書館システムの一翼を担い、従来の教養部図書館の内容を一部修正しながら、学習に対応するよりも教育・研究図書館へとシフトする方向に向くものと考えられます。

今後、学生等の利用者、研究者、職員等それぞれの立場よりの調整を計りながら、21世紀の学部図書館を構築していくことになります。

（元総合人間学部整理掛長・現附属図書館
総務課図書館専門員 小山隆義）

各大学図書館相互利用担当の方へ

他大学の方が京都大学の所蔵資料を閲覧される場合のお願い

まず閲覧利用したい資料が、本学に所蔵されているかどうか確認して下さい。本館に直接問い合わせるときは、手紙かファクシミリをご利用下さい。電話は、聞き取りの際に間違いが生じやすく、正確な調査ができない場合があります。

附属図書館に来館の場合は、

平日（月～金）： 9時～12時
13時～17時

の時間帯にお願いします。土曜日はサービス範囲を縮小しておりますので、他大学からの所蔵問い合わせおよび相互利用の受付は行っておりません。休館日等は、事前にお確かめ下さい。本誌29巻3号4頁に本館の「開館・サービス時間一覧」を、また本誌29巻4号7頁に「平成5年度図書館カレンダー」を掲載しておりますのでご覧下さい。

来館利用の際には、次の書類が必要です。

- 1) 国立大学の教官及び大学院生の場合
国立大学図書館間共通閲覧証
- 2) 近畿地区公立大学の教官及び大学院生の場合
公立大学間共通閲覧証
- 3) 上記以外の教育・研究機関の所属者の場合
所属機関の紹介状と身分証
（紹介状には、研究テーマ、閲覧希望の資料名、閲覧希望期間を必ず記入して下さい。）

特に、3) の場合は閲覧利用の資料名を必ず明記して下さい。利用形態は原則として閲覧と文献複写に限られます。

本学の場合、附属図書館（中央図書館）以外に多くの部局図書館（室）があり、それぞれ独自の運営が行われております。したがって本館以外の学内所蔵資料の利用については、各部局にお問い合わせ下さい。

なお、本件に関してのご質問等は、資料運用掛（075-753-2632）までお問い合わせ下さい。